

愛知医療学院短期大学 出前授業

「パラリンピック教育」報道資料

〔実施高校〕愛知県立新川高等学校



2016年(平成28年)
10月20日
木曜日

高校生、車椅子からシュート 新川高、日本代表候補が指導



有川美穂さん(右)の指導の下、競技を体験する生徒ら—清須市阿原北野

障害者スポーツについて理解を深める出前教室が17日、清須市の新川高校であった。車椅子バスケット女子日本代表候補の有川美穂さん(25)らが講師となり、意義や楽しさを伝えた。

男子生徒約170人が参加。愛知医療学院短期大学副学長で、リオパラリンピックでも選手団に同行した鳥居昭久教授(53)の講義後、生徒らは競技用車椅子に乗って走ったり、シュートをしたりした。

1年生でバスケット部員の横山碧さん(15)は「思ったより目線が低く、難しかった」。有川さんは「車椅子バスケットに出会って世界が広がった。前向きに色んなことに挑戦して欲しい」と話した。

愛知医療学院短期大学 出前授業

「パラリンピック教育」報道資料

「実施高校」愛知県立 新川高等学校



清須で障がい者
スポーツ授業

新川高で

障害者スポーツへの理解を深めてもらおうと、愛知医療学院短大（清須市）による「障がい者スポーツ・パラリンピック教育」授業が県立新川高校（同）で開かれ、1年生男子172人が参加した。車椅子バスケットボールの女子チームで活

躍する有川美穂さん（25）と同短大の鳥居昭久副学長が指導した。鳥居副学長から障害に応じたルールなどの特徴やパラリンピック大会の歴史などについて話を聞いた後、生徒たちは、有川さんとシュート練習をし、車椅子の操作方法についても指導を受けた。

有川さんは、中学2年の時に車椅子バスケ

に出会ってスポーツができる喜びを知ったといい、「4年後の東京パラリンピックを目指す」と話した。何事も最初から諦めず、でき



生徒たちに車椅子バスケットについて指導する有川美穂さん（中央）＝清須市の新川高校で

ることを一つ一つやれば、世界は広がること生徒たちにアドバイスしていた。【河部修志】